

《資料》

部落解放研究関係文献目録

(一九八三年十月～十二月)

【現 状】

《部落解放の課題と解放立法の展望》

(『部落解放研究』三六号、10月)

研究所人権・行政部門事務局「大阪における部落実態調査を

ふまえた今後の政策課題」

研究所福祉部会事務局「大阪における部落の生活実態と部落
解放の福祉」

大阪部落実態調査推進委員会事務局「今日における大阪の部落の
実態(下)―82年大阪部落実態調査から」

(『部落解放』二〇三号、10月)

(資料)「箕面市人権問題意識調査」

(『社会啓発情報』十五号、10月)

窪田充治「高知県の実態調査にみる国民的融合の前進」

(『部落』四三七号、10月)

堀内太一「手さぐりの地域福祉(上)―京都・崇仁地区のとりく
み―」(『月刊部落問題』八三号、10月)

杉之原寿一「杉之原寿一・部落問題著作集 第二巻近郊農村部落

の実証研究」(兵庫部落問題研究所、10月)

石元清英「農山村部落の仕事と生活―南但馬における部落実態分

析」(兵庫部落解放研究所、10月)

日之出地区部落実態調査推進委員会「大阪部落実態調査日之出地
区報告書」(同上、11月)

友永健三「大阪部落実態調査と今後の課題」

(『部落解放』二〇六号、12月)

大阪同和産業振興会「部落産業と地域分布」

(同上、1983年3月)

大阪府「同和地区産業振興調査報告書」

(同上、1983年3月)

和泉地区部落実態調査推進委員会「のこされた部落差別―実態調
査結果より見る私たちの町とくらし」

(同上、1983年7月)

【行政】

堀部迪雄「大津市における同和行政の到達点と今後の課題」

(『同和問題研究』創刊号、滋賀県同和問題研究所、10月)

《特集》「新しい同和对策のために」(『部落』四三七号、10月)

川口 是「憲法の考え方と行政のあり方」

真田 是「完全解放と同和行政」

三塚武男「部落問題と社会福祉・社会保障」

浜岡政好「中高年齢者の就労対策」

森橋高史「いま市街地の同和对策は……神戸市B町地区の場合」

(『部落解放』二〇四号、11月)

福本一文「(グラビア)神戸市B町地区」(同右)

卒田正直「戦後大阪の部落差別の実態と行政闘争」

(『部落解放』二〇六号、12月)

荻田哲男「同和行政史」(同右)

門司洋一「(不正・乱脈の同和行政から新しい方向をめざして)北九州市同対審答申と今後の責任」

(『部落』四三九号、12月)

(資料)「北九州市同和对策審議会答申」(同右)

堀口達也「(動向)行政・綾部市の個人施策の見直し」(同右)

全日本同和对策協議会『昭和59年度地域改善対策に関する要望大会』(同上、12月)

磯村英一編『同和行政論3』(明石書店、12月)

【運動】

《部落解放の課題と解放立法の展望》

(『部落解放研究』三六号、10月)

高野真澄「『部落解放の課題と解放立法の展望』再論」

(『部落解放研究』三六号、10月)

高野真澄「『部落解放の課題と解放立法の展望』再論」

(『部落解放研究』三六号、10月)

高野真澄「『部落解放の課題と解放立法の展望』再論」

(『部落解放研究』三六号、10月)

高野真澄「『部落解放の課題と解放立法の展望』再論」

(『部落解放研究』三六号、10月)

高野真澄「『部落解放の課題と解放立法の展望』再論」

(『部落解放研究』三六号、10月)

高野真澄「『部落解放の課題と解放立法の展望』再論」

(『部落解放研究』三六号、10月)

高野真澄「『部落解放の課題と解放立法の展望』再論」

(『部落解放研究』三六号、10月)

高野真澄「『部落解放の課題と解放立法の展望』再論」

(『部落解放研究』三六号、10月)

高野真澄「『部落解放の課題と解放立法の展望』再論」

(『部落解放研究』三六号、10月)

高野真澄「『部落解放の課題と解放立法の展望』再論」

(『部落解放研究』三六号、10月)

高野真澄「『部落解放の課題と解放立法の展望』再論」

(『部落解放研究』三六号、10月)

高野真澄「『部落解放の課題と解放立法の展望』再論」

(『部落解放研究』三六号、10月)

高野真澄「『部落解放の課題と解放立法の展望』再論」

(『部落解放研究』三六号、10月)

高野真澄「『部落解放の課題と解放立法の展望』再論」

(『部落解放研究』三六号、10月)

高野真澄「『部落解放の課題と解放立法の展望』再論」

(『部落解放研究』三六号、10月)

高野真澄「『部落解放の課題と解放立法の展望』再論」

(『部落解放研究』三六号、10月)

高野真澄「『部落解放の課題と解放立法の展望』再論」

(『部落解放研究』三六号、10月)

高野真澄「『部落解放の課題と解放立法の展望』再論」

(『部落解放研究』三六号、10月)

松本健男「差別撤廃法にむけた一構想」

横田雄一「絞殺を明快に証明！狭山事件の上山・新鑑定」

(『部落解放』二〇三号、10月)

増田幸子「(反原爆・反差別)被差別部落からの告発」長門充さ

んの原爆——国民学校三年生の原爆」

(『ながさき部落解放研究』七号、10月)

国民融合同九州会議「(資料紹介)大規模地区改善事業についての申し入れ」(『月刊部落問題』八三号、10月)

野間宏「狭山裁判第九十三回——異議申立の棄却決定批判(29)」

(『世界』四五五号、10月)

土井大助「暴力・恫喝に屈せず正義の処断を——八鹿・朝来事件の判決を目前にして」(『暮らしと政治』三〇二号、10月)

大阪市同和事業促進協議会30周年記念事業実行委員会『市同促協30年の歩み』(同上、10月)

部落解放浅香地区総合計画実行委員会『地域見学の手引き——部落解放浅香地区総合計画運動と浅香の実態』(改訂版)

(同上、10月)

部落解放同盟中央本部『地域改善対策協議会への意見書』(同上、10月)

部落解放同盟兵庫県連合会『83兵庫の部落解放運動・部落解放研究第17回全国集会活動報告』(同上、10月)

東京都連品川支部『いばら10年のあゆみ——品川支部結成10周年記念誌』(同上、10月)

塩谷隆弘「エスカレートする差別落書き」

野間 宏「狭山裁判第九十四回——異議申立の棄却決定批判(30)」

(『世界』四五六号、11月)

「同和」対策事業特別措置法強化改正要求国民運動中央実行委員会『部落解放行政推進要求政府各省交渉意志統一集会』(同上、11月)

部落解放同盟中央本部『部落解放高齢者第3回全国交流集会』(同上、11月)

部落解放同盟関東ブロック協議会『部落解放第15回東日本研究会会基調報告分科会報告集』(同上、11月)

部落解放同盟兵庫県連合会『八鹿公判闘争勝利に向けて』(同上、11月)

全国高校生部落問題研究会実行委員会『高校生の部落研活動——続・青年の未来と部落問題』(部落問題研究所、11月)

部落解放研究所・部落解放研究所15周年記念実行委員会『創立15周年記念集会・創立15周年記念レセプション』(同上、11月)

部落解放同盟大阪府連合会『大阪の奨学生生活助第10集 部落解放第9回大阪奨学生集会報告書』(同上、11月)

部落解放同盟群馬県連合会『部落解放研究第15回群馬県集会』(同上、11月)

部落解放研究所『部落解放研究所十五年のあゆみ』(同上、11月)

原田伴彦「部落解放研究所15年のあゆみと課題」

(『部落解放』二〇六号、12月)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

小森龍邦「今日の情勢と部落解放の課題」(同右)

北口末広「身元調査の実態とプライバシー保護」(同右)
 和島岩吉「最近の再審闘争の教訓と課題」(同右)
 中山武敏「再審と狭山事件」(同右)
 向井 正「部落解放同盟大阪府連第30回大会の意義と課題」(同右)

森村敏孚「行政改革と労働運動」(同右)
 田中 勝・鳴戸鉄哉「部落解放と反差別共闘」(同右)
 岩松広三・木津 謙「最近の差別事件の特徴と課題」(同右)
 ≪特集≫「右傾化の中の部落解放運動」
 (『東京部落解放研究』三五・三六号、12月)
 ≪緊急特集≫「同和」行政の後退を許すな——足立区差別行政
 政糾弾闘争から」

部落解放同盟足立支部「足立区差別行政を糾弾する」
 (資料)「足立支部解放行政確立の闘いと足立区差別行政の
 経過」
 茂田信義「へ共闘の立場から①へ清掃労働者の闘いと足立問
 題」

足立則安「へ共闘の立場から②へ足立支部の闘いに学び、労
 働運動と部落解放闘争の結合をめざし闘い抜く」
 鈴木幸一郎ほか「へ座談会へ運動つぶしの攻撃をはねのけ、
 闘う主体の強化を」

へ(講演) 右傾化の中の部落差別・狭山裁判へ
 真継伸彦「部落差別と仏教」
 野間 宏「親鸞・水平社運動そして狭山裁判」

期大会議案書』(同上、1983年5月)
 内田雄造『万年筆認知に関する鑑定書』

(狭山事件弁護団、1983年6月)
 狭山事件弁護団「特別抗告申立補充書—殺害方法・血液型等に關
 する上山鑑定書について」(同上、1983年7月)
 狭山事件弁護団「特別抗告申立補充書—万年筆認知に関する内田
 鑑定書について」(同上、1983年7月)
 世界人権宣言35周年大阪実行委員会「世界人権宣言35周年を記念
 したとりくみを地域・職場・学園でまきおこそう」
 (同上、1983年9月)

部落解放同盟北九州地区協議会・部落解放同盟福岡県連合会『北
 九州市同和对策審議会答申に関する見解』
 (同上、1983年)

【理 論】

編集部「部落解放研究関係文献目録」
 (『部落解放研究』三六号、10月)
 小嶋昭道「滋賀県における部落問題研究の現段階と課題をとらえ
 るために」
 (『同和問題研究』創刊号、滋賀県同和問題研究所、10月)
 黒田真隆「(動向) 運動・第12回部落問題全国研究集会—おもな
 内容と特徴、今後の課題」(『部落』四三七号、10月)
 部落解放研究所『部落問題文献目録』(解放出版社、11月)
 ≪特集≫「『国民的融合論』批判と部落史研究」

小田 実「核と抑圧と差別の世界構造」
 丹波正史「(動向) 運動・83全闘とその特徴」
 (『部落』四三九号、12月)
 山田慶昭「戸手商事件判決の意義と内容」(同右)
 和田嘉郎「戸手商事件、最高裁の上告棄却決定を知って」
 (同右)

名越弘文「戸手商事件の十年と最高裁決定」(同右)
 杉之原寿一「『同盟綱領』前文の改正案について—解放同盟の理
 論的混迷の深化」(『月刊部落問題』八五号、12月)
 瀬川負太郎「属人主義の亡霊—北九州市同対審答申の見方—」
 (同右)

全国部落解放運動連合会「(資料紹介) 自由で民主的な啓発活動
 を—地域改善対策協議会への意見書—」(同右)
 野間 宏「狭山裁判第九十五回—異議申立の棄却決定批判①」
 (『世界』四五七号、12月)
 小森龍邦ほか「第16・部落解放・反差別分科会(第20回自治研全
 國集会のまとめ)」(『月刊自治研』二九一号、12月)

部落解放同盟南方支部婦人部「婦人部のあゆみ—南方支部婦人部
 結成10周年記念誌」(同上、12月)
 加島地域平和を願う婦人の集い実行委員会「第3回加島地域平和
 を願う婦人の集い報告集」(同上、12月)
 全解連・大阪府部落解放運動連合会「子どもらのひとみ輝け—手
 をたすさえてあかるい町づくり」(同上、12月)
 部落解放同盟福岡県連合会「部落解放同盟福岡県連合会第34回定

(『部落解放研究』三七号、12月)

大賀正行「国民的融合論批判と部落解放理論—杉之原寿一氏
 の弁解とつくりい批判」

編集部「部落解放研究関係文献目録」(同右)
 (編集部)「『部落解放』総目次(一九一—二〇五号)」
 (『部落解放』二〇五号、12月)
 渡辺俊雄「部落解放理論入門」(『部落解放』二〇六号、12月)
 山中多美男「部落解放理論—『逆差別論』を中心に」(同右)
 編集部「『部落問題—調査と研究』総目次・創刊号」46号」
 (『部落問題—調査と研究』四七号、12月)
 東京産業労働会館図書資料室『蔵書目録 昭和58年度追録版』
 (同上、12月)

【解放教育】

佐藤三郎「高校教育の理念と変遷」
 (『部落解放研究』三六号、10月)
 ≪特集≫「進路保障を問いなおす」
 (『部落解放』二〇三号、10月)
 寺澤亮一「『進路保障』をどうとらえるか」
 山中多美男「『学力』と感性—『部落解放を担う力』とは」
 前川 実「解放闘争学生の現状と進路保障の課題」
 畑中 武「大阪における進路保障運動」
 岡田雅充「子どもたちに撃たれて」
 山下繁三郎「ムラに向きななおすといなみ」

寺木伸明「大学に解放の炎を―全国大学同和教育研究協議会結成の経緯と今後の活動」(同右)

〔資料〕「全国大学同教結成趣意書、会則、結成アピール」(同右)

《特集》「教科のどこで勝負するか」

(『解放教育』一七〇号、10月)

〈いまの教育・教科はどこが間違っているか〉

色川大吉「子どもたちの四次元世界への挑戦を」

新藤兼人「少年たちの復讐」

川端利彦「自分が自分であることを」

中野陸夫「解放教育にとって教科とは何か」

藤間直之「『読みの力』をどう育てるか」

鈴木正彦「子どもの認識と価値実現活動―子どもの数や

量、空間認識を中心にして」

牧 靖一郎「星狂い記」

中村弘三「試合―『はだかの王様』」

松田弘子「『ぼく、勉強わりたいねん』―『しばてん』

の授業から」

高槻市富田小・赤大路小・五領小・若松小高槻四校編集委員

会「小さなつぶやきにこだわって」

桂正孝ほか「教材解釈のすすめ(討論)―『にんげん』四年生

新教材から」(同右)

《特集》「『にんげん』実践をより深く」

(『解放教育』一七一号、10月)

〈I 第10回『にんげん』実践研究集会〉

丸木 俊「記念講演・子どもは絵をかく」

第10回『にんげん』実践研究集会実行委員会「基調提案・教

育の『荒廢』状況に抗する』にんげん』実践」

〈II 実践の展開―この教材を〉

川森力夫「とくちゃんたちのなかま」

原尻早苗「つづりかた―五十田」

大前純男「クレヨンはぬすんだのじゃねえ」

宮瀧順子「なかまをもとめて」

林田哲治「放ったれ牛の辰」

荒川雅清「先生おれらのことわかってくれ」

角掛全宏「一本の大根として」

梅原達也「ふるさと」

〈II 実践の展開―実践レポートから〉

河本謙治「思いを共有する―1年・じろちゃんのさくぶ

ん」

山本新一「S君のことがわかりあえるなかまに―2年・お

かあさんのしごと」

菊沢信行「代官所や地主なんかいらねん―3年・三ねん

ねたろう」

榊原洋子「自立しはじめた子どもたち―4年・里子の決

心」

永野勝次「絵かて読めなあかん―4年・子どもたちをまも

る母」

木之下信廣「おれのこともわかってくれやノ―4年・なか

まをもとめて」

鎌田富夫「学級新聞の力で―5年・竹夫の班」

亀井 晟「心を色で―5年・川とノリオ」

山田桂子「大人であるゆえにつかみ得ぬものを―6年・ぼ

くがっこうにいきたいねん」

〈III 教材―教材をどうつくるか〉

(編集部)「教材をつくらう―子どもや親たちとともに」

「ピオネールは何をしてきたか」「身をきられる差別と」

「怒りをおさえて」

〈III 教材―新しい教材〉

(編集部)「教材をつくって来た―その精神を学びとらう」

まじぎきたけとし「菜の花」

筑紫地協教育対策部「芝居・万年橋」

部落解放同盟大阪府連富田林支部「新堂少年水平社」

泉佐野市立長南中学校「櫻井部落の歴史」

〈IV 民主的編成〉

中村弘三「民主的編成の課題」

(資料)「一九八三年度『にんげん』教材一覧表」

《特集》「非行克服をめざして」

(『同和教育運動』二三号、10月)

大同啓五「非行克服をめざすとくくみ」

加藤 清「非行・暴力の克服めざし体当りの一年」

滝嶋利喜雄「管理主義の克服」

大久保憲二郎・堀之内知恵子「仲間づくりをめざす学年交流

会」

問山正臣「中学生がやり遂げた『峠の道』の上演活動」(同右)

野矢一郎「人権尊重の態度化をめざす保、幼、小、中一貫の同和

教育」(同右)

栗田英夫「埼玉における同和教育の現状と課題」(同右)

村上 保「『同和教育』の歴史を偽造する兵庫県同和教育行政

の現状」(同右)

大阪府東北教職員組合「〈資料〉戦後同和教育史・4 全国一斉

学力テスト反対―和泉市山中学校の闘い」(同右)

小嶋真人「子どもたちの豊かな情操とすこやかな成長を願って

―食物流通センター建設と教育・民主主義を守る運動」

(同右)

石田真一「水平運動と教科書(2)」(同右)

(資料)「和歌山県同和教育研究協議会八三年度方針」(同右)

(資料)「教育・部落問題動向(一九八三・六〜八)」(同右)

浦辺 史「部落問題と民主保育」(『部落』四三七号、10月)

土方康夫「就学前教育の課題を明らかにするためにへその二」

―話しコトバと書きコトバのちがいを手がかりに」(同右)

《特集I》「新はぐるま」の教材研究」

(『月刊どの子も伸びる』七八号、10月)

佐古田好一「文学読本『新はぐるま』でよりゆたかな人間勉

強を」

松崎正治「たろうのとめたち」

大阪府同和教育研究協議会『被差別部落のない学校・園の部落問題学習 資料編』(同上、10月)

《特集》『学校の枠をこえて』(『解放教育』一七二号、11月)

小森龍邦・平野一郎・村田恭雄・藤本敏夫「あるとき私が学んだもの」

江藤巧也「裏山に残る戦争と差別」

高野生「僕の学校はアフリカにあった」

中田由宇「断章・ジュロニモ軍団」

(編集部)「被爆を被差別のおもいに重ねて」

近畿大学部落問題研究室「部落は遠かった」

《第35回全国教大会を迎えて——奈良から》(同右)

奈良県部落解放研究所「こうして生きてきた——ムラの聞きとりから」

福西満・辻本卓身・中村衛・大久保幸一・大寺和男(司会)

「(座談会)『むなつき坂』を目前にして」

《青雲闘争》(同右)

畝本常宏「青雲闘争・仲間のこと」

深田和之「非権力的行政と権力的行政」

室伏修司「横越(おうちよう)?」

小西一「攻撃的闘いをすすめられた救援会」

小川正巳「解決した問題と未解決の問題」

高山三雄「畝本先生」職場復帰をかちとる」

石田眞一「(部落の子ども記)小作米」

(『月刊の子も伸びる』七九号、11月)

井口昌三「したきりすずめ」

古牧 暎「かげ」

長田大三郎「まちゃんと」

中村 正「びんぼうがみ」

永田喜久「わらぐつのはなの神様」

石田眞一「(部落の子ども記)桜石」(同右)

東上高志「(いま同和教育から学ぶもの)教育のいとなみに」

(同右)

山中多美男「本音で話し合える関係を」

(『はらっぱ』七巻一号、10月)

部落解放研究所『部落解放子ども会の現状と課題——自主的活動の発展と教育行政の責務の明確化をめざして』(同上、10月)

桃山学院大学現地研修学生実行委員会ほか『被差別部落——その現実の提起するもの』(同上、10月)

高知県立高知高等学校同和教育推進委員会『解放への指針 歴

史編・部落解放への歩み編』(同上、10月)

第17回三重県同和教育研究大会実行委員会ほか『三重県同和教育

研究大会要項第17回』(同上、10月)

全国解放教育研究会『部落解放教育資料集成 1「解放令」後の

教育と部落改善運動』(明治図書、10月)

全国解放教育研究会『部落解放教育資料集成 2米騒動前後の部

落と教育』(明治図書、10月)

全国解放教育研究会『部落解放教育資料集成 3全国水平社と教

育差別糾弾闘争』(明治図書、10月)

東上高志「(いま同和教育から学ぶもの)今日の部落差別と教育」(同右)

村越末男「全国大学同和教育研究協議会発足にあたって」

(『現代教育学』三二四号、11月)

畝本常広「教育反動化に楔を打ちこむ闘い——青雲闘争・畝本処分

救援会全面勝利の意義」(『社会評論』九巻五号、11月)

《子ども認識と部落問題》(『部落』四三八号、11月)

石田眞一「子どもの人権と教育」

浜田博生「子どもの生活と人権の学習」

藤井千鶴子「人間の生き方と人権の教育」

野矢一郎「地域に根ざした部落問題の学習」

谷口幸男「教科書と部落問題の学習」

山下楠一「真実に背をむける日教組——日教組大会をかえりみ

つ」

「全国教三十年史」編集委員会『全国教三十年史 巻一〜四』

(全国同和教育研究協議会、11月)

文部省「同和教育研究協議会記録 昭和57年度」(同上、11月)

奈良県同和教育実践会『出身教師の語り』

(奈良県部落解放研究所、11月)

全国同和教育研究協議会『第35回全国同和教育研究大会・分科会

報告書集』(全国同和教育研究協議会事務局、11月)

全国解放保育連絡会・熊本県就学前「同和」教育研究集会実行委

員会ほか『第6回全国解放保育研究集会・第1回熊本県就学前

「同和」教育研究集会』(同上、11月)

寺澤亮一「同和教育入門——体験を中心に」

(『部落解放』二〇六号、12月)

桂 正孝「教育の荒廃と同和教育の課題」(同右)

鈴木祥蔵「同和保育の理論と実践」(同右)

《特集》「被抑圧者の反撃——第13回全国解放教育研究集会報告」

(『解放教育』一七三号、12月)

旭 一郎「せんせい、あそんだるわな」

宮本久江「荒事師たち」

松本 周「先生、わがことやったらどないすんねん」

松原三中教師集団「A君を中心とした二週間の『生活合宿』」

山田彰道「記念講演・たたかいの虚実を尋ねる」

三岡芳典「特別報告・旭ヶ丘小・その後」

中川福智「第一三回大会の底流にあるもの」

全国解放研事務局「自立の軸をどう設定するか」

中村弘三「ナホトカとピオネルたち——『青年の船』のおとも

をして」(同右)

石田眞一「(部落の子ども記)井戸水」

(『月刊の子も伸びる』八〇号、12月)

東上高志「(いま同和教育から学ぶもの)同和教育の出番」

(同右)

東 義和「入門・同和教育論」(明石書店、12月)

部落解放研究所『証言・戦後「同和」教育三十年』

(解放出版社、12月)

同志社大学同和教育委員会『差別と人間——チャペル・アワー講演

『集』(同志社大学宗教部、1983年4月)
香川県同和教育研究協議会『第24回昭和58年度総会資料』
(同上、1983年5月)

部落問題研究所『文学読本新・はぐるま1〜3』
(同上、1983年6月)

文部省『同和教育資料』(同上、1983年7月)

熊本県高等学校同和教育研究会『ともにあるくー「自主活動」実
践集』(同上、1983年)

全国同和教育研究協議会『全国同和教育研究大会資料 第35回』
(同上、1983年)

文部省『同和教育研究協議会(学校教育関係)開催要項 昭和58
年度』(同上、1983年)

【人権】

(資料)「『第一回人種主義および人種差別と闘う世界会議』の
宣言及び行動計画」(『部落解放研究』三六号、10月)

B・トポルニン「(海外研究動向) 国際人権憲章とソ連邦」
(同右)

坂上優子「現代の結婚・家庭——長谷川善計氏論文批判を通じ
て」(同右)

外務省国連局企画調整課「(資料) 経済的、社会的及び文化的権
利に関する国際人権規約第十三〜十五条に関する報告—教育関
係部分(仮訳)」(同右)

林カ「(連載第二回)『癩者』の息子として」

【第一部会 討論要旨】

《特集Ⅰ》「原爆・敗戦38年目の証言」

(『ヒロシマ・ナガサキの証言』八号、10月)

《特集Ⅱ》「沖繩・広島・長崎・水俣のちの出会い」(同右)

《今、教科書を問う》(『We新しい家庭科』二巻六号、10月)

田宮 裕「免田無罪判決にみる誤判の構造」

(『ジュリスト』七九九号、10月)

安藤はつえ「デンマークの男女平等委員会を訪ねて」

(『あひま』一七号、10月)

大阪市婦人問題対策推進協議会『男女平等社会をめざして—大阪
市婦人施策に関する基本計画』(同上、10月)

《国連・第二回人種差別と闘う世界会議で》

(『部落解放』二〇四号、11月)

小森龍邦「第二回人種差別と闘う世界会議のこと」

友永健三「『第二回人種差別と闘う世界会議』と人種差別撤
廃条約」

(資料)「『第二回人種主義・人種差別と闘う世界会議』へ
の訴え」

フリッツ・グロイシング「ドイツの被抑圧民族協会について」
(同右)

野間宏・沖浦和光・(司会) 土方鉄「へ対談」アジアにおける被
差別民衆の歴史と文化—『アジアの聖と賤』をめぐって—
(同右)

林カ「(連載第三回)最終回—『癩者』の息子として」

(『部落解放』二〇三、号10月)

広島県立府中高校定時制「島酒「泡盛」——沖繩出身の青年た
ち」(『解放教育』一七〇号、10月)

友永健三「第二回人種差別と闘う世界会議に参加して」

(『社会啓発情報』一五号、10月)

山口 定「ファシズムと差別煽動—ナチス・ドイツを中心に」
(同右)

加藤敏明「訪欧記①—ドイツ、プロテスタント信徒大会へ」
(同右)

前平泰志「今年是世界人権宣言35周年③ —ユネスコの人権と教
育」(同右)

岩松繁俊「原爆被爆者における「差別者・被差別者」の二重構
造」(『ながさき部落解放研究』七号、10月)

労働省婦人少年局「婦人労働の実情 昭和58年版」
(大蔵省印刷局、10月)

高野雄一ほか編「国際人権法入門」(三省堂、10月)

《平等権の諸問題》(『公法研究』四五号、10月)

川添利幸「平等原則と平等権」

中村睦男「法の下の平等と「合理的差別」」

戸松秀典「政治参加と平等」

釜田泰介「性差別と平等」

大須賀明「社会福祉と平等」

齋藤靖夫「外国人と平等」

阪本昌成「優先処遇と平等権」

(同右)

磯村英一「差別問題と日本人の精神構造」(同右)

島比呂志「続・『片居』からの解放」

(『解放教育』一七二号、11月)

《食べるといふこと》(『We新しい家庭科』二巻七号、11月)

《特集》「関東大震災の時代」(『季刊三千里』三六号、11月)

安岡章太郎・金達寿「対談・そのとき人間は」

宮川寅雄「関東大震災の殺人」

金 容権「子どもたちの震災体験」

高崎宗司「関東大震災・朝鮮での反響」

高柳俊男「朝鮮人虐殺についての研究と文献」

井上 清「民本主義と帝國主義」

山田昭次「関東大震災と朝鮮人虐殺」ほか

齋藤恵彦「人権と人々の大量流出—新国際人道秩序の樹立をめざ
して」(『平和研究』八号、11月)

水口修成「フランスの難民の受入れと人権問題」(同右)

福田 菊「国際連合とNGO」(同右)

ロジャー・吉野ほか「へ座談会」平和と人権と大阪の21世紀—世界
人権宣言35周年に寄せて—
(『大阪21世紀計画ニュース』十三号、11月)

守川正道「世界の差別」(明石書店、11月)

銭本三千年「試験に立つアメリカ—新連邦主義と全障害児教育
法」(日本盲人福祉研究会、11月)

法務省人権擁護局監修『人権擁護六法 昭和59年版』

(日本加除出版、11月)

ナタン・レルナー著・斎藤憲彦訳『世界人権宣言35周年と人種差別撤廃条約』(部落解放研究所、11月)

女性差別撤廃条約の早期批准を促進する大阪府民会議『女性差別撤廃条約と人権(連続学習会講演記録集)』(同上、11月)

シヤミル・マハメジャロフ『海外研究動向』ソ連の少数民族の歴史の運命』(『部落解放研究』三七号、12月)

(資料)「『第二回人種主義および人種差別と闘う世界会議』の宣言及び行動計画」(同右)

藤林晋一郎「(連載)部落に生きる「障害者」群像——大阪編・第六話」地域の活動センター——部落解放同盟日之出支部」

(同右)

守川正道「ガンジリはなぜ殺されたのか」(同右)

田畑茂二郎「世界人権宣言35周年と人権の課題」

(『部落解放』二〇六号、12月)

大野町子「女性差別撤廃条約と課題」(同右)

西岡 務「障害者差別の現状と解放への課題」(同右)

辛 基秀「在日朝鮮人差別の歴史と現状」(同右)

横田三郎「反ソ宣伝への反撃と人権擁護」

(『解放教育』一七三号、12月)

松本健男「世界人権宣言を実現させるための課題」(同右)

ファトヒ・アブドルハミード「何故パレスチナ人民に適用されないのか」(同右)

《特集》「転換期に直面するらゐ園の内外」

(『解放教育』一七四号、12月)

福地幸造「編集前記」

〈第一章*「らい予防法」の矛盾と改正〉

島田 等「『隔離』(徳永進)の方法——病人史の今日的意義」

義二「医の転換への期待として」

松本 馨「小さき声へ療養通信」

桜井 学「『らい予防法』改正について」

豊田一夫「化学療法功罪」

荒川 巖「開放医療のために」

和泉真蔵「社会経済状態とらいの伝染力の変化——正しいらい対策のための病因論」

い対策のための病因論」

〈第二章*強制収容・戦争・生きる〉

中山秋夫「鎮魂譜——わたしの歩んだ道」

安 七恵「永遠に帰られへん」

國本 稔「終着駅からの手紙」

宿里礼子「歳 月」

松村憲一「生きるために」

早野孝義「人間回復への曙——鼻の形成を終わって」

大江満雄「来者の詩——ハンセン病者の詩の変わり方」

〈第三章*隔離は何をのこしたか〉

徳永 進「発電所のある村——らいを病んだ故郷の人たち」

飯河梨貴「『ハンセン病』を知ること」

〈第四章*医療政策史の虚構〉

光岡良二「癩と天皇制」

イシガ・オサム「ハンセン病療養所を反戦療養所に」

島比呂志「生存宣言の一年——一九八〇年」こぶさた日記」

記」

深川 徹「『深川徹遺歌集』抄」

朝 滋夫「『歌集』『樹籬』抄」

川野 順「『歌集』『折々の歌』抄」

青木伸一「『歌集』『山菜黄の花』抄」

上田卓三「大韓機事件と情報公開」

(『社会啓発情報』一六号、12月)

金 東勲「今年の世界人権宣言35周年④——人種差別撤廃条約とは」(同右)

加藤敏明「訪欧記②—ドイツ・ダッハオの強制収容所へ」

(同右)

《日本における人権の今日的状況》(『部落』四三九号、12月)

黒田了一「世界人権宣言35周年に想う」

沼田稲次郎「国際人権思想と社会運動」

金子 毅「シンポジウム『世界人権宣言35周年と日本の人権状況』」

増田れい子「婦人の置かれた状況—労働婦人を中心に」

秦 芳江「『体育と『女性問題』』についての史的考察—日本の場合」(『同志社女子大学学術研究年報』三四卷Ⅲ、12月)

鈴木由美子「『身分』を持つことから始めてみませんか—続・ピノチオ問題から逃げてはいけな」

(『みんなの図書館』八〇号、12月)

《着るといふこと》(『We 新しい家庭科』二巻八号、12月)

《優生保護法改正」と私たちの立場》(『福祉労働』21号、12月)

《子どもがあぶない》(『あいら』八一号、12月)

平塚らいてう著作集編集委員会『平塚らいてう著作集 4むしろ性を礼拝せよ』(大月書店、12月)

津野田真理子『マリコいろに生まれ—障害者の女が街で生きる時』(千書房、12月)

世界人権宣言35周年中央実行委員会『国連の人権擁護活動と日本—世界人権宣言35周年を記念して』(同上、12月)

朴 慶植『朝鮮問題資料叢書 第9巻解放後の在日朝鮮人運動 I』(アジア問題研究所、12月)

釜ヶ崎差別と闘う連絡会(進)『アッコかて人間や、釜ヶ崎と人権』83年8月釜ヶ崎実態調査報告』(同上、12月)

市川房枝記念会調査出版部『市川房枝記念会図書室蔵書目録 1983』(市川房枝記念会、12月)

国際社会福祉協議会日本国委員会『高齢者問題国際行動計画』(同上、1983年3月)

労働省婦人少年局『地域における男女の共同参加についての調査結果報告書』(婦人関係調査資料No.74)

(同上、1983年3月)

総理府『婦人の現状と施策—国内行動計画第3回報告書』(ぎょうせい、1983年4月)

姜 徹『在日朝鮮人史年表』(雄山閣、1983年4月)

榎下一雄『僕は犯人じゃない』土田・日石事件一被告の叫び』
 〈ちくまぶっくす45〉(筑摩書房、1983年4月)
 国際連合広報センター『アパルトヘイト—日本にとつての意味』
 (同上、1983年5月)
 大阪市婦人問題対策推進協議会『大阪市婦人施策に関する基本計画』(同上、1983年5月)
 沖繩大百科事典刊行事務局『沖繩大百科事典』
 (沖繩タイムス社、1983年5月)

竹中恵美子編『女子労働論—機会の平等—から結果の平等—』
 〈有斐閣選書437〉(有斐閣、1983年5月)

鈴木裕子編『堺利彦女性論集』(三一書房、1983年5月)
 日本婦人団体連合会『婦人白書 1983年版』
 (草土文化、1983年6月)

家永三郎ほか編『正木ひろし著作集 5 弁護士さん 評論・随想』(三省堂、1983年6月)

家永三郎ほか編『正木ひろし著作集 6 夢日記 若き日の断想・スケッチ集』(三省堂、1983年7月)

【社会啓発】

野口道彦『部落出身』との結婚忌避態度の説明要因について

(『部落解放研究』三六号、10月)

磯村英一(出会い)母・師・友人

(『社会啓発情報』一五号、10月)

坂本礼助『社会同和研修創造の基盤②』(同右)

(『社会啓発情報』一六号、12月)

ロジャー・ヨシノ「この人にくく」レーガン政権は人権擁護の

政策を後退」(同右)

田村正男「(出会い)幼な心に火が燃えた」(同右)

大阪府労働部「企業内同和問題研修推進員の同和問題に関する意識調査結果の概要」(同右)

香野貞人ほか「(座談会)これからの企業研修を考える」(同右)

北口末広ほか「大阪東郵便局差別事件」(同右)

茨木市「しあわせへのみちびき—世界人権宣言35周年を記念して第10集」(同上、12月)

読売新聞大阪社会部「開け心が窓ならば—差別反対大合唱」
 (解放出版社、12月)

人権啓発推進大阪協議会『よりよき指導者をめざして』4 世界

人権宣言35周年記念』(同上、1983年7月)

尼崎同和問題啓発促進協議会『同和問題—啓発活動指導者用手引き』(同上、1983年)

き』(同上、1983年)

【文化・思想】

松江ちづみ「第8回部落解放文学賞児童文学部門佳作・連載第11

回(最終回)「あんちゃん」(『部落解放』二〇三号、10月)

村崎義正「猿まわし復活五周年の節目にあたって」

(『部落』四三七号、10月)

「創る—みんなのできる文化のページ」

(『部落解放』二〇四号、11月)

大森龍三「(講座)職場研修入門③」(同右)

梅田 修・本田清春「住民自治と教育—社会同和教育実践の事例的研究①」八日市野口町」

(『同和問題研究』創刊号、滋賀県同和問題研究所、10月)

東 寿隆「(動向)教育・権利としての社会教育」の実践に学

ぶ社会同和教育の取り組みを—第23回社会教育全国集会」

(『部落』四三七号、10月)

モラロジ研究所「民主主義社会と同和教育—「モラロジ」概

説」に基づく同和学習資料」(同上、10月)

部落解放研究所『部落解放西日本講座講演集 第8回』

(同上、10月)

世界人権宣言35周年旭区実行委員会・旭区人権啓発推進会は

「人権—世界人権宣言35周年・旭区人権啓発推進会 5周年記

念」(同上、10月)

村崎勝利「(動向)行政・啓発活動のあり方について—総理府・

地対協、全解連に意見を求む」(『部落』四三三号、11月)

東 寿隆「差別・人権問題と社会教育」

(『月刊社会教育』三三二号、11月)

部落解放研究所『社会啓発の理論と課題』(解放出版社、11月)

西岡 智・大川恵美子「部落差別と私の歩んだ道」

(『部落解放』二〇六号、12月)

香野貞人・清水宣行「企業と部落問題」(同右)

小森哲郎「これからの社会啓発」(同右)

鈴木祥蔵「「感性」の意味するもの」

加治敏子「(識字)ぶらくさべつがあるばかりに」ほか

桑高喜秋「私の『破戒』ノート—猪子蓮太郎のこと」

(『文学評論』三号、11月)

用語問題特別取材班「拡大する放送禁句第五弾—国連の提言から

日本の惨状まで」(『放送レポート』六五号、11月)

奈良県部落解放研究所「こうして生きてきた 2 労働」

(同上、11月)

大川恵美子『生きていくということ—大川恵美子講演集』

(住吉同和教育推進協議会、11月)

松崎武俊文・吉郷幸治絵『カンテラー部落の語り伝え』

(福岡部落史研究会、11月)

「創る—みんなのできる文化のページ」

(『部落解放』二〇五号、12月)

木本久枝「(詩)内職」ほか

「古老の話—編集委員会」差別の中を生き抜いて—信州の被差別

部落・古老の話」(長野県同和教育推進協議会、12月)

多田寛田「『宗教と部落問題』の課題」

(『月刊部落問題』八三号、10月)

田沼全道「『橋のない川』の宗教的側面について」

(『部落』号四三八、11月)

「特集」人間平等の思想と宗教者の姿勢Ⅱ」

(『部落解放』二〇五号、12月)

狩野俊猷・季平博道・赤松賢秀・織田昭爾・(司会)松根廣

【宗教】

- 「(座談会)寺院活動に求められているもの」
 水上 勉「差別戒名について思う」
 中村 元「ブツダにおける人間平等の思想」
 阪本義信「宗教界の取り組みの足をひっぱるもの」
 角植平一「現代キリスト教界における『賀川問題』」
 尾瀧一峰「青いくるみの木の下で——差別戒名の墓を拝んで」
 大川恵美子「せめて死んだら極楽に」
 村越末男「仏教と部落問題についての想い出」
 谷口修太郎「宗教と部落問題」(『部落解放』二〇六号、12月)
 工藤英一「関西学院大学人権問題講演会・キリスト教と部落問題——キリストの福音を解放の福音として把握する」
 (『関西学院通信クレスント』十五号、12月)
 松根 鷹「問題の多い宗教界の部落差別」
 (『月刊サーチ』一二二号、12月)
- 【通史】
 窪田享信「大阪『旭区史』と『同和』問題記述」
 (『部落解放』二〇三号、10月)
 (語り手)森本藤治郎・(聞き手)山角美智子「(水平社を支えた人たち)よう働きまして(下)——播州平野に生きて」
 (『解放教育』一七〇号、10月)
 編集部「(聞き書き)ある被差別部落で話されたこと」
 (『ながさき部落解放研究』七号、10月)
- 宮崎重人「解放六〇年を今思う(寄稿)」(同右)
 早川興司「大分県部落史研究会発足にいたる経過」(同右)
 (資料)「規約、活動計画概要」(同右)
 藤谷俊雄「連載・二〇世紀に生きる——あるインテリの自伝的歴史(8)軍国主義教育」(『部落』四三九号、12月)
 部落問題研究所「部落の歴史 東日本篇」(同上、12月)
 下郷山兵「ミスターヨシのたたかひの生涯 一九四一年十二月上海」(中村太古舎、12月)
 柳沢本也「五郎兵衛新田村の生活」
 (信州農村開発史研究所、12月)
- 【近代】
 <近世の被差別部落>(『ながさき部落解放研究』七号、10月)
 藤沢秀雄ほか「(座談会)長崎県における近世被差別部落史研究の成果と課題」
 増田史郎亮「長崎の被差別部落形成史」
 姫野順一「(資料紹介)天領長崎の幕末期における皮屋町——『役の者』の生活について」
 増田史郎亮「浦上四番崩れ事件 前史—部落民・キリシタン・神道・仏教者と奉行所との諸関係をめぐって—その二」
 人見彰彦「(シリーズ)部落史のひとこま」
 (『部落問題—調査と研究』四六号、10月)
 研究部会(近代)「(史料解説)層者重宝記(上の部)」(同右)
- 増田史郎亮「落穂拾い(被差別民史)」(同右)
 谷口勝巳「部落史研究の歴史と『岩越家文書』解説の意義」
 (『同和問題研究』創刊号、滋賀県同和問題研究所、10月)
 吉田 晶「(動向)研究・部落史研究の新しい課題を開拓する——藤谷俊雄所長古稀記念論集」をよんで」
 (『部落』四三七号、10月)
 藤谷俊雄「連載・二〇世紀に生きる——あるインテリの自伝的歴史(6)立ち上る民衆」(『部落』四三七号、10月)
 岡 映「(判冠記)第三部・迷路を書き終えて」
 (『部落問題—調査と研究』四六号、10月)
 藤谷俊雄「連載・二〇世紀に生きる——あるインテリの自伝的歴史(7)関東大震災」(『部落』四三八号、11月)
 佐和慶太郎「(本の紹介)投獄につぐ投獄の半生—松井久吉著—被差別部落に生きる—わが半生の記」
 (『労働運動研究』一六九号、11月)
 高田銀蔵編「故郷礼讃」(同上、11月)
 乾 武俊・坪井和子「和泉南王子村・植田由春氏聞書」
 (『部落解放研究』三七号、12月)
 <特集>「部落史研究の意義と課題」
 (『おおい部落解放史』創刊号、12月)
 石川俊秀「部落史研究の今日的意義—その一—」
 中村正夫「部落史研究の意義と課題(大分県部落史研究会第一回総会・記念講演)」
 宮崎重人「聞き書き・力一杯生きた誇り」(同右)
- 高市光男編著「続愛媛部落史資料」
 (近代史文庫大阪研究会、10月)
 小林 茂編「日本屎尿問題源流考」(明石書店、10月)
 井下田純「(部落の生活史)17 長崎医道修業の彦助—鈴木家文書より」(『部落』四三八号、11月)
 細川涼一「中世の身分制と非人」
 (『歴史学研究』別冊特集、11月)
 横井 清「(的と脱衣—日本中世文化史への二つの視点—」
 (『社会史研究』三三号、11月)
 井上正一「『靈異記』にみる『業』思想の民間受容——仏教的差別観の形成」(『部落解放研究』三七号、12月)
 寺木伸明「近世部落の歴史—起源を中心として」
 (『部落解放』二〇六号、12月)
 豊田寛三「大分県の近世被差別部落史覚書」
 (『おおい部落解放史』創刊号、12月)
 編集委員会「(史料紹介)盗賊取締方覚」(同右)
 人見彰彦「(シリーズ)部落史のひとこま」
 (『部落問題—調査と研究』四七号、12月)
 研究部会(近代)「(史料解説)層者重宝記(2)」(同右)
 <特集>「古代日本の差別」(『歴史公論』九七号、12月)
 平野邦雄・村井康彦・篠弘道「(座談会)古代の差別をめぐって」
 佐伯有清「古代日本の被差別民たち—雑戸の問題を中心として」

〈奴婢の差別〉

神野清一「『大化前代』の奴婢」

丹生谷哲一「古代奴婢制と中世非人」

〈技術者・商工業者の差別〉

大山誠一「律令制下の品部・雑戸」

井上辰雄「古代の芸能民たち」

館野和己「律令制下の交易民」

〈平安期の差別〉

井上満郎「平安時代の新たな差別」

中原俊章「初期武士への蔑視観」

関口裕子「古代における女性差別」

武光 誠「古代東アジア世界における差別」

〈いろいろな被差別民〉

武光 誠「部民」

早川万年「海部」

武光 誠「舎人・韋負・采女・膳夫」

武光 誠「寺奴婢」

永山修一「隼人」

高嶋弘志「神戸」

寺崎保広「浮浪人」

北村優季「平安京の下層民」

早川万年「山部」

武光 誠「馬飼・猪飼」

早川万年「佐伯部」

早川万年「蝦夷」

寺崎保広「寄口」

寺崎保広「雇役民」

小口雅史「初期庄園の農民」

佐々木恵介「特集関係文献解説」

黒田日出男「(荘園絵図を読む1)『古作ヲ坂之物池ニツキ早』

—荘園絵図の解釈をめぐる—(『U.P.』一三四号、12月)

大石雅章・井上寛司・森田安一「一九八三年度歴史学研究会大会

報告批判(中世史部会)」(『歴史学研究』五二三号、12月)

高本 力「千二百年の悲愁—部落の源流をたずねて」

(同上、1983年2月)

【近現代】

事務局(杉山)「(資料紹介)岡山の水平運動③」

(『部落問題—調査と研究』四六号、10月)

桑原 律編「岐阜県における戦後同和問題関係年表—岐阜県民主

同和促進協議会20年運動史」

(岐阜県民主同和促進協議会、10月)

上井俊記「三重県初の融和団体・『改業社』の設立について(上)—

史料紹介をかねて」(『部落解放研究』三七号、12月)

上杉 聡「部落襲撃に関する新史料『岡山県暴動一件』」

(同右)

村越末男「部落解放運動史」(『部落解放』二〇六号、12月)

鈴木裕子「水平運動の中の女性たち」

(『東京部落解放研究』三五・三六号、12月)

大串夏身「(連載)全国水平社に関する新聞記事索引—全国水平社と日本労働運動⑧」(同右)

研究会歴史部会編「(連載)東京の近代部落史関係史料集(八)

—東京の融和運動・融和政策(三)—(同右)

〈グラビア〉「大分県が生んだ解放運動の先駆者—高橋貞樹」

(『おおいた部落解放史』創刊号、12月)

〈部落解放運動史—大分県「水平社」創立の頃〉(同右)

嶋崎二郎「別府『的ヶ浜』事件取材補記」

小犬丸裕「大分県『水平社』の創立」

木下喜善「日田郡水平社の創立と『日田朝日新聞』糾弾闘争」

(資料)「復権同盟結合規則」(同右)

青木孝寿「戦時下の部落問題II」

(『長野県短期大学紀要』三八号、12月)

京都部落史研究所『京都部落史年表 3 近代篇』

(同上、1983年3月)

赤塚康雄「大阪教育遺跡地図(6)—浪速区界限」

(『パリオニア』二二号、関西地理学研究会、1983年6月)

愛知県部落解放運動連合会『愛知県部落解放運動史(戦前編)—

愛知県水平社創立60周年を記念して』(同上、1983年8月)